



横浜銀行 ニューヨーク駐在員事務所

週間トピックス Vol. 467 (2017. 9. 15)

<今週のトピックス>

移民の国アメリカ

トランプ政権は、オバマ政権下で導入された子供時代に親につれられて米国へ不法入国した若者を強制送還の対象から外す政策を段階的に撤廃すると発表しました。一方で 80 万人にも上る対象者を保護する法案の制定を議会に委ねています。「不法」移民に関して言えばトランプ大統領の公約のひとつでもあり、就任当初からいろいろな動きがあります。一方で米国は移民国家であり、多種多様な文化を受け入れることで今日を築いたといえます。スーパーなどで手にする日用品にはほとんどのものに英語のほかにスペイン語の表記もありますし、ニューヨーク市では、地下鉄のチケット販売機は多様な言語に対応しています。また公立の学校には英語を第一言語としない生徒への ESL(第 2 言語としての英語の授業)などが整っています。

トランプ大統領当選の背景にはマジョリティーであった白人が、ヒスパニック系の台頭から、危機感を覚えたこともひとつとされていますが、最近の調査から、増加率はヒスパニック系よりもアジア系のほうが高いということが分かりました。

Pew Research Center によると 2000 年から 2015 年の 15 年間のアジア系アメリカ人の増加率は 72% に上り、ヒスパニック系の 60% を超えていたということです。(この間の日系人の増加はアジア系の中で最小でした。)

2015 年の調査ではアジア系アメリカ人の人口は約 2000 万人とされ、中国系 495 万人、インド系 398 万人、フィリピン系 390 万人が TOP3 で日系は 141 万人です。

アジア系人口の 59% が米国外で生まれており、成人に絞るとその割合は 73% にも上ります。今後もアジアからの移民は増加すると 2055 年にはヒスパニック系を凌ぐ割合になります。

先日 M&A をアレンジする会社の社長とお話をした際に、西海岸にはアジア系の人が多いため、アジアの「食」=日本食を受け入れる素地が東海岸に比べてあるという話を聞いたのですが、先のリサーチのようにアジアにルーツを持つ住民が増えていくのであれば、「食」のみならず、さまざまなアジアの文化が今以上に米国市場に受け入れられるようになるかもしれません。

【出所 Pew Research Center】

<主要マーケット指標>

	9月11日(月)	9月12日(火)	9月13日(水)	9月14日(木)	9月15日(金)
USD/円	109.39	110.17	110.49	110.24	110.83
ユーロ/USD	1.195	1.197	1.189	1.192	1.195
ダウ	22,057.37	22,118.86	22,158.18	22,203.48	22,268.34
S&P500	2,488.11	2,496.48	2,498.37	2,495.62	2,500.23
Nasdaq	6,432.26	6,454.28	6,460.19	6,429.08	6,448.47
Treasury 10Y	2.140	2.170	2.200	2.200	2.200
Treasury 30Y	2.750	2.780	2.790	2.770	2.770

- ・本レポートは情報提供のみを目的として作成したものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・ご利用に関しては、すべてお客さま自身でご判断くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
- ・本レポートは信頼できると思われる情報に基づいて作成していますが、当行はその正確性を保証するものではありません。
- ・本レポートのご利用によりお客さまがいかなる損失、損害を受けられても当行は一切の責任を負いません。
- ・本レポートはお客さま限りでご利用くださいますようお願いいたします。